

## — センターから —

## 総合情報処理センター新建屋の建設工事始まる

総合情報処理センター長 須原正彦

総合情報処理センター新建屋の建設工事は、9月4日の地均しの開始、続いて19日の祈願祭によってスタートした。場所は、本部事務局建屋の南側である。西側の正面より眺めると、中央の円形ラウンジ（共通棟）の左側に管理・研究棟、右側に実習・講義棟を配した建屋面積約2300m<sup>2</sup>の2階建てである。

中央のラウンジには、正面西側入口から1階へ、東側入口から2階へ出入りできる。本部事務局側からコルネードを通じて管理・研究棟の1階へ入るルート（北側入口）もあり、雨天時および夜間利用の際の入口となる。

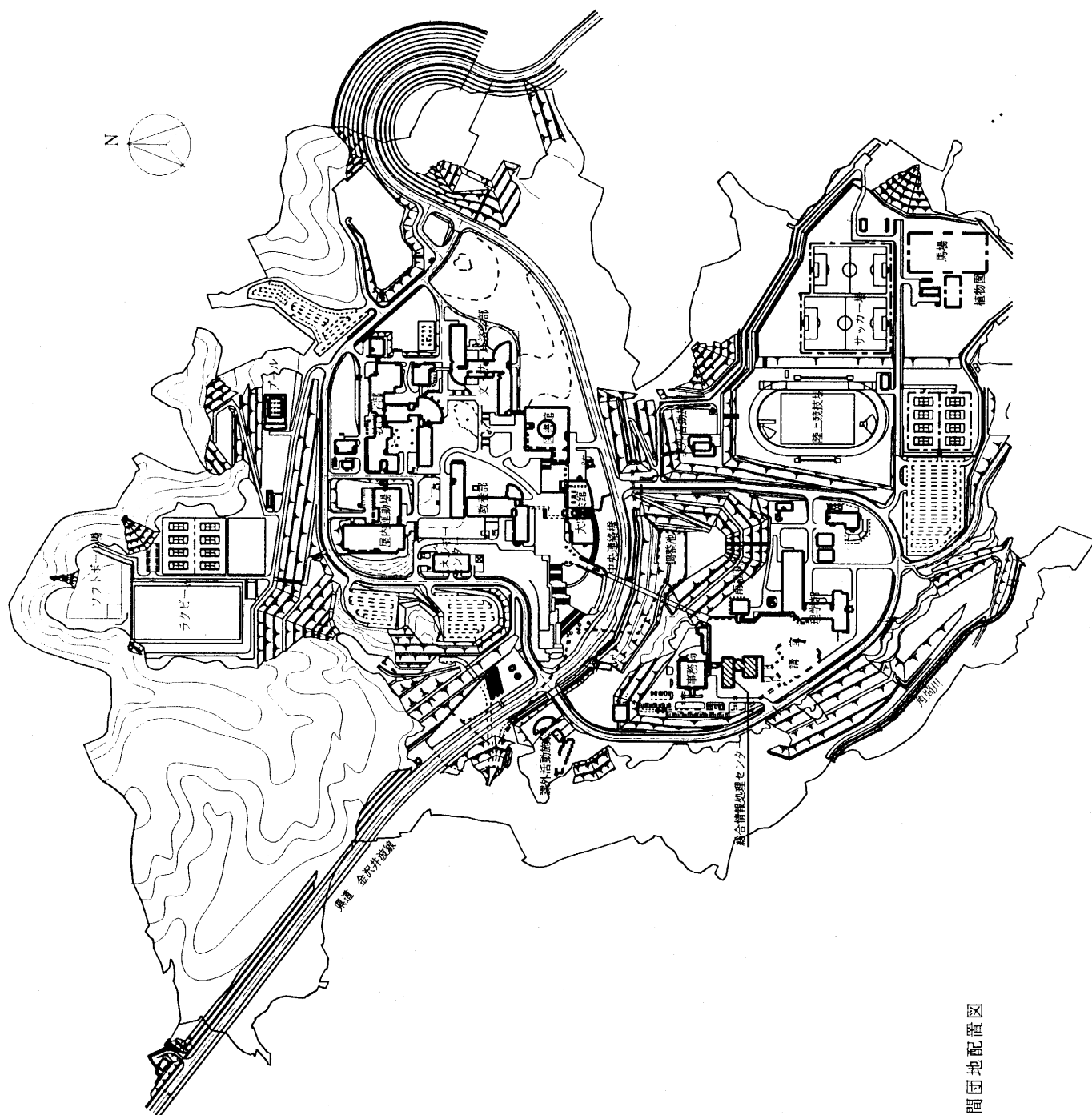
ラウンジ内は、多数の学生の出入りに対応できるよう広い空間をとってあり、休憩コーナーも設けてある。

研究・管理棟の1階には、センター長室、事務室、図書閲覧室、システム管理室、計算機室、第1ネットワーク室、WCなどがあり、また身体障害者にも便利となっている。2階には、管理業務室、教官研究室、実験室、第1および第2研究端末室、第2ネットワーク室、特殊入出力室、カフェテリア室、WCなどがある。夜間利用のためには、研究端末室、特殊入出力室を用いる。

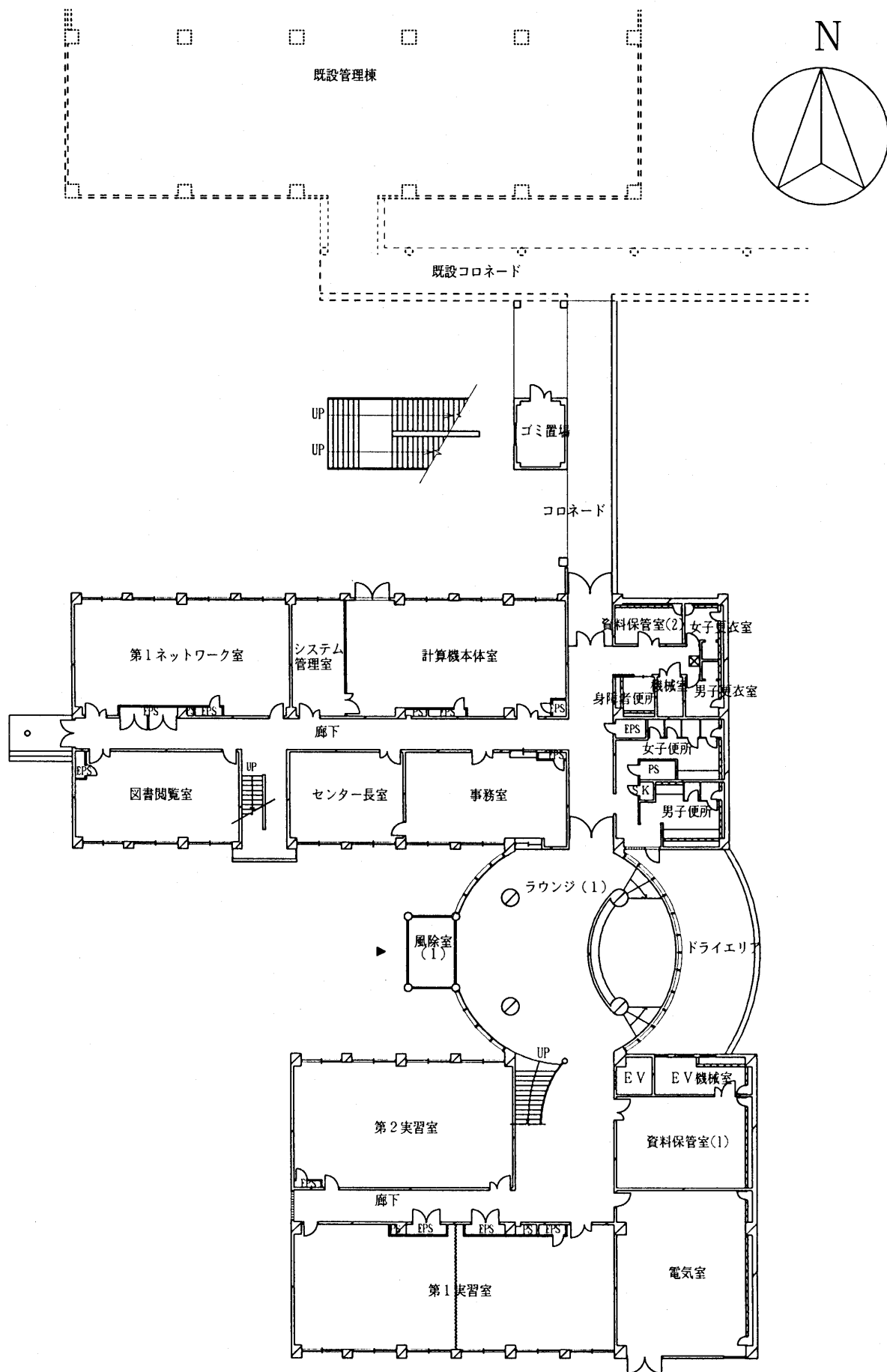
実習・講義棟の1階には、第1実習室（端末60台）、第2実習室（端末30台）、資料保管室、電気室がある。2階には、第3実習室（端末60台）、第4実習室（端末30台）および講義室兼会議室などがある。

建屋の設計、部屋の配置、付帯設備などについては、センターと施設部との綿密な打ち合わせによりほぼ理想的なものとなったと自負している。

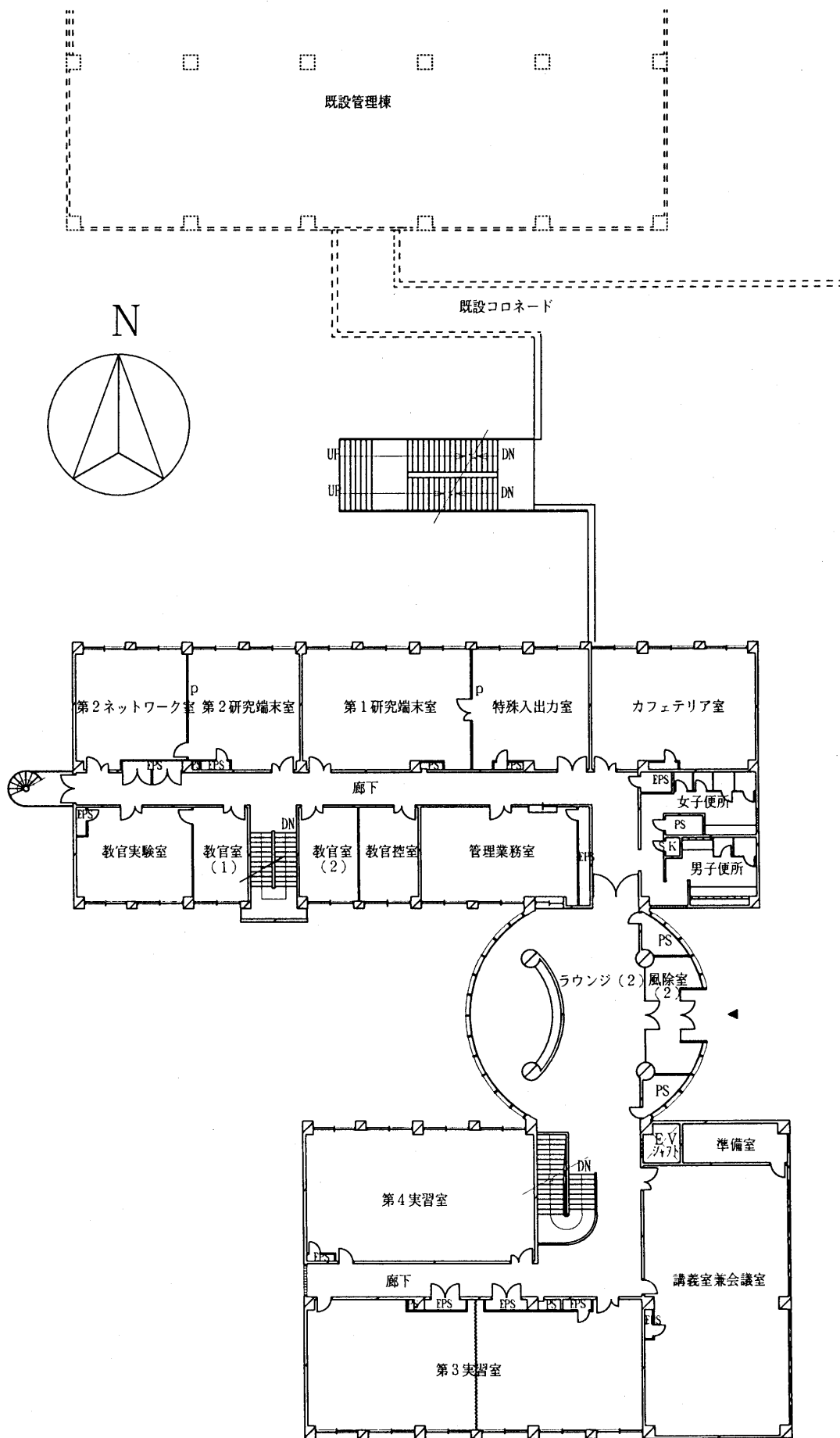
平成2年、省令化施設として設置された総合情報処理センターの待望された新建屋は、平成8年3月までには完成の予定である。この新建屋を中心に、研究教育のための情報処理環境がより充実し、本学における情報処理教育、学術研究がより活発となり発展するものと信じている。



角間団地配置図



## 1 階平面図



2階平面図